

石 二 小 だ よ り

第29号 平成28年9月12日（月）発行 文責：鈴木

【電話】0244-22-2724【ホームページ】http://www.minamisoma.gr.fks.ed.jp/?page_id=145

平成28年度重点目標「考えをつたえ合おう」

住みよい暮らしをつくるために

4年生は、社会科の授業で「住みよい暮らしをつくる」という単元を学習しています。その中で、ごみの処理に関する学習をしますが、6日（火）にはクリーン原町センターの見学に行ってきました。ここには、南相馬市内のごみが1日約90トンも運ばれてきます。焼却炉は24時間稼働で運転されており、850℃～950℃で燃やされています（800℃以下で燃焼するとダイオキシンなどの有害なガスが発生するそうです）。ごみの減量化のために私たちにできることとして、ごみの分別があげられます。正しく分別し、決められた集積所へ朝8時半までに出してほしいというお話がありました。また、「ごみダイエット3R」運動として、リデュース（Reduce・減らす）、リユース（Reuse・再利用）、リサイクル（Recycle・再生利用）を実行できるように心がけましょう。



大型の電子黒板を使って



夏休み中に、大型の電子黒板が各教室に入りました。これは、子どもたちが使っている教科書そのままテレビ画面に映せるもので、タッチペンを使って書き込みをしたり、分かりやすく色づけしたり、小さく表示されている部分を拡大して表示したりできます。また、子どもたちが書き込んだノートやプリント類を映したりすることもできるなど、様々な機能が付いています。本校でも、2学期に入ってから、先生方が積極的に授業で使用している光景が見られます。この電子黒板をはじめ、パソコンやタブレットなどのデジタル機器を有効に利用して、子どもたちの学習意欲が高まり、より一層授業に熱心に取り組むことができるようになることを願っています。

《裏面もご覧ください》

自分がされて嫌なことは他の人にもしてはいけない

毎日の子どもたちの学校生活では、友だちと楽しそうに過ごしている姿が見られます。そして、各学級では、「仲良く生活する」「相手を思いやる」ことの大切さを指導しています。しかし、友だちにひどい言葉を使ったり、嫌がることをしたりすることがまったく無い訳ではありません。自分は何気なく言った（やった）ことでも、相手が深く傷ついたり嫌な気持ちになったりすることがあります。このような場合、言った（やった）方はまったく意識していなくても、言われた（された）方は、とても嫌な思いをしているのです。言った（やった）方はとっくに忘れていても、言われた（された）方はいつまでも覚えているものです。学校でも、他人への寛大さと自分への厳しさを、機会を見つけて子どもたちに話をしたり、大人の姿で見せたりしながら教えていくことが大切だと考えます。ご家庭でも、楽しく学校（社会）生活を営む上で大切な「思いやり」や「相手の立場に立って考えること」などについて、折に触れてお話ください。なお、気になることや心配なことがあれば、いつでも担任やスクールカウンセラー等にご相談ください。



次のことは、理由があればしてもよいと思いますか？

それとも、してはいけないことですか？

- 1 身体や性格のことで、悪口を言ったりまねをしたりからかったりすること
- 2 身体や性格のことであだ名をつけること
- 3 誰か一人を見ながら、聞こえないようにして悪口を言うこと
- 4 友だちの悪いうわさ話を言いふらすこと
- 5 本人の嫌がることを言ったりまねたりすること
- 6 他人の意見や発表に対して、笑ったりやじを入れたりすること
- 7 他人が失敗したり約束を守らなかつたりした時、強い調子で非難すること
- 8 誰か一人を数人で囲んで文句や悪口を言うこと
- 9 一人または何人かで、誰か一人と話をしないこと
- 10 いたずらのつもりで、誰かの持ち物を隠すこと
- 11 友だちの机や椅子、持ち物などに落書きをしたり汚したりすること
- 12 自転車の鍵を壊したり、タイヤをパンクさせたりすること
- 13 自分のやるべき仕事を、誰かに無理矢理やらせること
- 14 友だちから品物やお金を借りて返さないこと
- 15 一人または何人かで、他人を殴ったり蹴ったりすること
- 16 誰かがいじめられているのを見て、見ぬふりをすること
- 17 コンピュータなどを使って、ネット上で悪口を言うこと

この文章は、「大熊中学校だより第27号」に掲載されていたものです。とても考えさせられる内容だと思ったので紹介しました。